

「恋人の聖地」に認定

星観光で阿智村全域が

星の村を売り物にしてきた阿智村の村内全域が5月、「恋人の聖地」に認定された。村内の観光は、中京圏の高年層が多かったが、星をキーワードに若いカップルや女性などへも広がりがつつある。

「恋人の聖地」の選定は、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が少子化・晩婚

化対策と地域活性化を目的に2006年4月から実施している。全国の観光地域から「プロポーズにふさわしいロマンチックなスポット」を選ぶ取り組みだ。村や観光関連団体でつくるスタービレッジ阿智協議会は、星を売り物にしたナイトツアーを手がけてきた。利用者若いカップルが

多いことやプロポーズの場所に利用された実績があることから、「恋人の聖地」として申請したところ、村内全域が認定を受けた。ヘフランスそのはらの「天空の楽園 日本一の星空ナイトツアー」は一昨年から始まり、昨年は年間2万2000人を超える来場があった。ことしの営業で

は、新たに始まった「雲海ツアー」を含めて約3万5000人が訪れたとみられる。

ロマンチックな星空やさまざまなアトラクションはもちろん、暗い山間を15分かけて会場へ向かうゴンドラも恋人同士の距離を縮めると若い世代から人気を集める。星観光は「神星なる里浪合スターウオッシング」や村内飲食店での星関連メニューの登場、冬から営業が始まった「星空バスツアー」など多方面に広がりがつつある。